

ふるさと歴史散歩 72

～松前史談会レポート～

俳句の里・松山市垣生を訪ねる

樗さけり 故郷波郷の邑かすむ 秋桜子 (出合橋北詰に句碑)

余戸駅近くにある古郷の南山房から久米垣生線を西へ行くと三島神社に突き当たる。このあたりが西垣生だ。松前からは、伊予松山港線重信川川口大橋を渡るとすぐだ。樗の木も、村上霽月・五十崎古郷・石田波郷の生家も現存する。

破魔弓や忠太郎の子孝太郎 霽月

この句は、孝太郎が初めての正月を迎えたころ、名付け親である霽月がお祝いに贈った句である。垣生と言えば、霽月。霽月と子規やその弟子たちとの関係はよく知られているが、霽月(半太郎)と三由淡紅(忠太郎)、孝太郎(今出吟社主宰)のことは、今回の「訪ねる」の下見や山本芳幸氏著書で初めて知った。経済界の重鎮・謹厳実直で知られた霽月のもっともファミリーでホットな部分である。淡紅は鹿島の周遊道整備に尽力したとあり、そこに多くの句碑があることにも納得。先日、妻や姉と鹿島へ行った時の宿題が解決した。

鍵屋カナの地に霽月が育ち、波郷が生まれた。

秋いくとせ石鎚を見ず母を見ず (垣生中学校内に句碑)
は、長い闘病生活をおくった波郷の望郷の詩である。故郷を離れて生きる伊予人の心を揺さぶったに違いない。垣生には、俳句があふれている。

- 俳句の小径
垣生小学校内にある。
- 村上半太郎翁顕徳碑
霽月邸内に建つ。右側に大きな長屋門がある。



5月のふるさと歴史散歩は休みます。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



二人は手話で「ありがとう」を表現しています

手話

岡田 拓朗 くん 山下 塔矢 くん

Okada Takuro Yamashita Toya

北伊予小4年・中川原 北伊予小4年・神崎

手話の練習に励む北伊予小学校4年生の岡田拓朗くんと山下塔矢くん。共に毎週土曜日、NPO モコクラブ主催の手話講座に通っています。

先に習い始めたのは拓朗くん。1年生の時、母明代さんが習っていたのがきっかけで通うようになりました。「最初は人が少なくて、あんまり楽しくなかったけど、やっているうちに楽しくなりました」と言葉を弾ませます。拓朗くんに誘われて始めたという塔矢くんも「週に1回じゃ少ないです」と、二人そろって、手話を勉強する楽しさにはまっている様子。

上達するためのポイントは実際に手話を使って会話してみること。二人は手話で挨拶したり、話したりすることもあります。取材中も、手話を交えて返答してくれました。

目標は「世界中の手話を習って、どんな人でも手話で話したり、遊んだりすること」と拓朗くん。塔矢くんは「耳の聞こえない人とも手話で仲良くなって、友達をたくさんつくること」と意欲を見せていました。



1歳です。よろしくね



はらだ みりあ
原田 美莉愛 ちゃん

西高柳
平成22年5月9日生
(父)和之さん
(母)久美子さん

これからも笑顔で元気に育ってね♡



ぱく かずひで
朴 一豪 くん

昌農内
平成22年5月8日生
(父)成石さん
(母)卓子さん

毎日たくさん食べて、遊んで、いたずらして元気に大きくなってね。



なかた ともえ
中田 朋笑 ちゃん

上高柳
平成22年5月26日生

(母)まどかさん

朋笑の笑顔に癒される毎日だよ。元気に育ってね♡



おがわ なつみ
尾川 夏未 ちゃん

恵久美
平成22年5月14日生

(父)裕介さん
(母)浩栄さん

なっちゃんの笑顔が大好きだよ。

7月に1歳になる
お子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。*先着6人です。

募集期間 5月2日⑧～5月16日⑧ ▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

おうちで給食

recipe
32

青菜のじゃこ炒め



●材料● (4人分)

小松菜……………4株
ちりめん……………20g
もやし……………1/2袋
厚揚げ……………1/2丁
ニンジン……………1/4本
薄口しょうゆ……大さじ1
みりん……………大さじ1
酒……………大さじ1
ごま油……………小さじ1
白ごま……………小さじ1

●作り方●

- 1 小松菜はボイルして、2センチの長さに切る。
- 2 厚揚げは大きめの短冊、人参は短冊切りにする。
- 3 フライパンにごま油を熱し、ちりめんを炒める。
- 4 ニンジンと厚揚げを加えて、調味料を入れ煮含める。
- 5 厚揚げに火が通れば、小松菜を加えて炒める。最後に白ごまをふりかけて出来上がり。

Point ●小松菜は鉄分や食物繊維を多く含む野菜で、ごま油との相性もばっちりです。
●小松菜のかわりに、大根葉やピーマンでも美味しくできます。